

活動報告

団体名	災害救援レスキューアシスト
活動名	令和3年2月福島県沖地震による被災者のための屋根の応急処置活動
活動期間	2021/02/18~2021/03/14
活動の成果	<p>■新地町災害ボランティアセンター発表：技術系ボランティア活動件数 依頼数 55件 キャンセル9件 活動件数 46件</p> <p>上記のほか災害ボランティアセンターの開始までに依頼のあった宮城県山元町の屋根作業数件と、倒れた家具や建具の修理、墓石のずれの補正、倒木伐採や重機を利用した活動も行いました。東日本大震災から10年を迎え、フラッシュバックなどの被災者心理にも気を付けながらの活動が必要であると考えていましたが、津波被害から離れた場所、つまり家屋が大震災で特に大きな被害がなかった地域を中心に被害が多く、大震災より今回の福島県沖地震の方が揺れが大きく怖かったとおっしゃる住民の方が多かったです。また、高齢化が進んだことや、ご近所との付き合いが変わってしまったなど孤立されている方も多くみられ、二丁掘り起しの難しい方もおられました。山と海に挟まれかなり風の強い地区でもあり、活動直後に応急処置を行ったブルーシートが飛ばされてしまった屋根もありました。試行錯誤と企業の資材提供の協力のもと、あらゆる方法を試すことができ、何とか被災住民の方に安心して生活をしていただくことができたと感じています。今回も全国から「アシスト瓦（段ボール瓦）」募集し、多くの方が協力をしてくださいました。たくさんの方に見守られていることも、活動の中でお伝えすることができました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>いつも本当にありがとうございます、今回は東日本大震災から10年を迎える直前の大きな地震ということもあり、被災住民の心情はどれほど苦しかったであろうと考えながらの活動となりました。幸いにも、私たちの活動に安心していただき、住民の方は明るく前を向いていただけたと思います。ブルーシートは一度張って終わりではなく、継続的な支援が必要となります。私たちは今後も見守り続けることで、安心をお届けしていきたいと考えています。</p>

(活動のようす)

